【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】令和6年12月2日(2024.12.2)

【国際公開番号】WO2023/182130
【出願番号】特願2024-510081(P2024-510081)
【国際特許分類】
B01D 53/14(2006.01)
B01J 20/02(2006.01)
B01J 20/30(2006.01)
C01F 11/20(2006.01)
C01G 49/00(2006.01)
C01D 3/10(2006.01)
【FI】
B01D 53/14 311
B01J 20/02 A
B01J 20/30
C01F 11/20
C01G 49/00 Z
C01D 3/10

【手続補正書】
【提出日】令和6年9月26日(2024.9.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
鉄、金属塩及び水を含み、
鉄の表面に存在する水の、鉄の単位表面積当たりの含有量［鉄の表面に存在する水の含有量（ｇ）／｛鉄の含有量（ｇ）×鉄の比表面積（m^2/ｇ）｝］が２．００ｇ／m^2超３．５０ｇ／m^2以下である、脱酸素剤組成物。
【請求項２】
前記金属塩の少なくとも一部が、前記鉄の表面に存在する、請求項１に記載の脱酸素剤組成物。
【請求項３】
前記鉄の表面に存在する金属塩が、前記鉄の表面を被覆してなる、請求項２に記載の脱酸素剤組成物。
【請求項４】
前記鉄の表面に存在する金属塩が、塩化カルシウム、臭化カルシウム及び臭化ナトリウムからなる群から選択される１種以上である、請求項２又は３に記載の脱酸素剤組成物。
【請求項５】
前記鉄の表面に存在する金属塩の含有量が、鉄１００質量部に対して０．１質量部以上１０質量部以下である、請求項２又は３に記載の脱酸素剤組成物。
【請求項６】
前記鉄の比表面積が、０．０３m^2/ｇ以上０．２０m^2/ｇ以下である、請求項１～３のいずれか一項に記載の脱酸素剤組成物。
【請求項７】

前記鉄の平均粒子径（Ｄ５０）が、１μｍ以上１０００μｍ以下である、請求項１～３のいずれか一項に記載の脱酸素剤組成物。
【請求項８】
請求項１～３のいずれか一項に記載の脱酸素剤組成物と、該脱酸素剤組成物を収容した通気性包装容器とを備える、脱酸素剤包装体。
【請求項９】
下記工程（Ｉ）～（III）を含む、脱酸素剤包装体の製造方法。
工程（Ｉ）：金属塩及び鉄を含む脱酸素剤組成物（ａ）を得る工程
工程（II）：前記脱酸素剤組成物（ａ）に水を供給して、鉄、金属塩及び水を含み、鉄の表面に存在する水の、鉄の単位表面積当たりの含有量［鉄の表面に存在する水の含有量（ｇ）／｛鉄の含有量（ｇ）×鉄の比表面積（m^2/g）｝］が２．００ｇ／m^2超３．５０ｇ／m^2以下である脱酸素剤組成物（Ａ）を得る工程
工程（III）：前記脱酸素剤組成物（ａ）及び前記脱酸素剤組成物（Ａ）の少なくとも一方を通気性包装容器（ｂ１）に収容する工程
【請求項１０】
前記工程（Ｉ）に次いで、下記工程（III-１）及び工程（II-１）を順に有する、請求項９に記載の脱酸素剤包装体の製造方法。
工程（III-１）：前記脱酸素剤組成物（ａ）を前記通気性包装容器（ｂ１）に収容する工程
工程（II-１）：前記通気性包装容器（ｂ１）を通して、前記脱酸素剤組成物（ａ）に水を供給して、前記脱酸素剤組成物（Ａ）を得る工程
【請求項１１】
更に、下記工程（IV-１）を有する、請求項１０に記載の脱酸素剤包装体の製造方法。
工程（IV-１）：前記脱酸素剤組成物（Ａ）を収容した前記通気性包装容器（ｂ１）を、更にガスバリア性容器（ｂ２）に収容する工程
【請求項１２】
前記工程（Ｉ）に次いで、下記工程（III-２）、工程（IV-２）及び工程（II-２）を順に有する、請求項９に記載の脱酸素剤包装体の製造方法。
工程（III-２）：前記脱酸素剤組成物（ａ）及び水分供与剤を前記通気性包装容器（ｂ１）に収容する工程
工程（IV-２）：前記脱酸素剤組成物（ａ）及び前記水分供与剤を収容した通気性包装容器（ｂ１）を、更にガスバリア性容器（ｂ２）に収容する工程
工程（II-２）：前記水分供与剤から、前記脱酸素剤組成物（ａ）に水を供給して、前記脱酸素剤組成物（Ａ）を得る工程